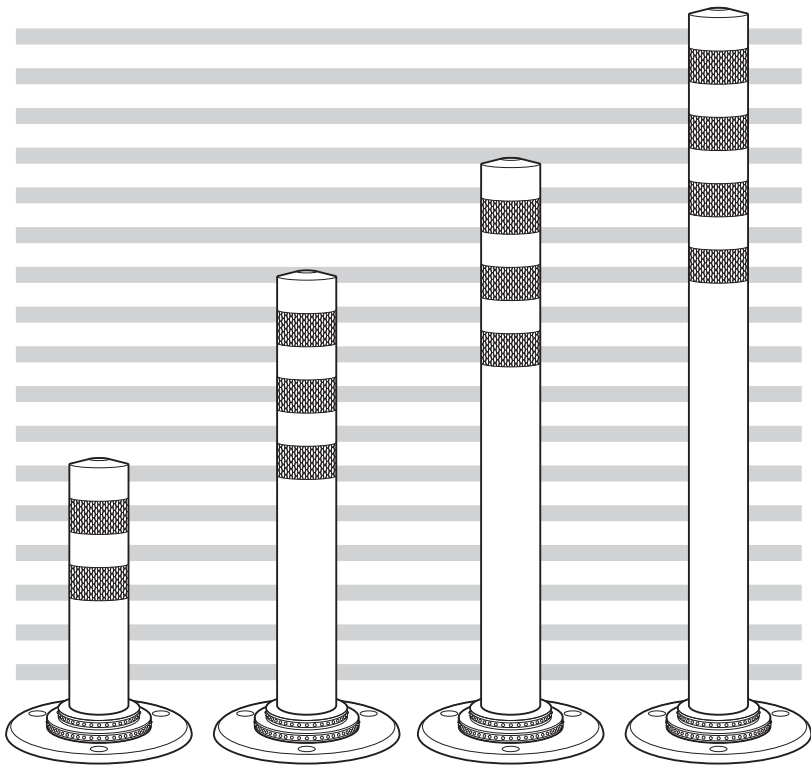


セキスイ

ポールコーン取扱説明書

NF(アンカー)タイプ・GBF(アンカー)タイプ

※施工業者の方へ／この取扱説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。
※ユーザー様へ／この取扱説明書は、メンテナンス時にも必要です。大切に保管してください。



PC-40NF□□-CS PC-65NF□□-CS PC-80NF□□-CS PC-100NF□□-CS
PC-40GBF□□-CS PC-65GBF□□-CS PC-80GBF□□-CS PC-100GBF□□-CS

準備していただく機械・工具・材料など	使用用途
カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
コアカッターまたはドリル φ40mm～45mm	孔開け
ソケットタイプのレンチ(17mm)	ボルトの締め付け
清掃用ブラシ	設置面、孔内部の清掃
接着剤(エポキシ系)*	ポールコーンの路面設置・固定

*当社ロードボンドをご使用ください。

使用上のご注意

このたびはセキスイポールコーンをお買い上げいただきましてありがとうございます。
お求めの製品を正しく使用していただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

設計者の方へ

- 設置位置はなるべく平らな場所を選び、障害物がある場所や凹凸のある場所は避けて設置してください。
- PC-100タイプは過度の車両走路が想定される箇所には設置しないでください。

施工業者の方へ

警告 施工を安全に行えるように、現場周辺にはカラーコーンや工事用バリケードなどの安全用具の設置または交通規制などを行ってください。

注意 接着剤の硬化時間以上に必ず養生してください。また、施工後6時間以内の加圧・衝撃は避けてください。十分な養生時間をとらずに交通開放を行いますと、がたつきが生じて製品に不具合が生じたり、路面から外れるなどして危険です。十分にご注意ください。

＜＜施工上の注意＞＞

- 気温5℃以下の時、降雨時、降雪時には施工しないでください。接着剤が硬化しない場合があります。夏期は、接着剤の使用できる時間が極端に短くなります。混合後、速やかにご使用ください。

- 施工時に道路の接着面が濡れていないことをご確認ください。

- 接着剤の硬化時間のめやすは以下のとおりです。
夏期(路面温度40℃) 1時間以上
常温(路面温度25℃) 1時間30分以上
冬期(路面温度10℃) 3時間以上

ユーザー様へ

警告 製品設置後は、定期的にゆるみ・破損の確認を行ってください。必要な場合は、増し締め・部品交換など適切な処置をとってください。ゆるみ・破損を放置しますと思わぬ事故につながる場合があります。

本製品の仕様は、機能・品質改良のため予告なく変更する場合があります。



積水樹脂株式会社
都市環境事業本部

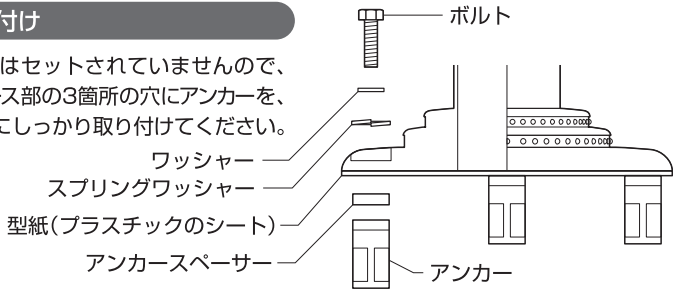
●ご相談窓口 交通環境資材事業部 TEL. 03-5400-1847

1 部材の確認

施工される前に必ず、納品された部材と納品書が一致するかどうかご確認ください。
●内容物一覧：ポールコーン……5 アンカーセット入り袋……5 取扱説明書……1

2 アンカーの取り付け

本体にはアンカーはセットされていませんので、ポールコーンのベース部の3箇所の穴にアンカーを、ゆるみがないようにしっかり取り付けてください。(図を参照)



アンカースペーサーの確認

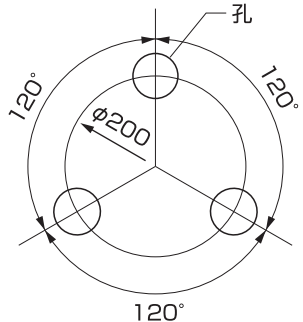
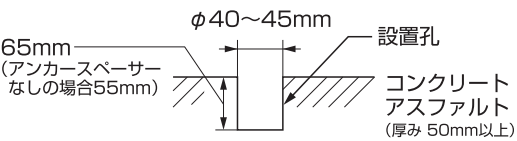
- アンカースペーサーはポールコーン施工後、ポールコーンを取り外してしばらく設置しない時に、アンカー保護キャップ(別売り)を取り付けるために必要なものです。アンカー保護キャップを使用されない場合は、アンカースペーサーを取り外して施工していただいてもかまいません。

3 設置位置の決定

なるべく平らな場所を選び、チョークなどで設置場所に目印を付けてください。
障害物がある場所や凹凸のある路面は避けてください。
また道路の接着面は濡れていないことをご確認ください。

4 孔開け作業

目印を付けた場所にコアカッターまたはドリルで孔を開けてください。
設置方向を気にする必要はありません。
孔開け径・深さ、位置は図を参照ください。



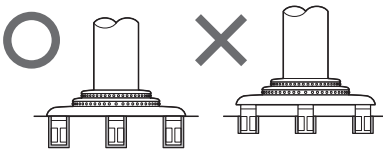
5 設置面の清掃

接着剤を注入する前に孔内部、設置面の石粉・砂などをエアガンなどで清掃しておいてください。
また、孔内部・設置面が濡れている場合は、完全に乾燥させてください。



6 ポールコーンの仮設置

孔を開けた部分にポールコーン(アンカー付き)を仮設置します。
この時、アンカーが孔の中に入るか、路面から浮き上がっていないかを確認してください。
浮き上がっている時は孔を深くします。

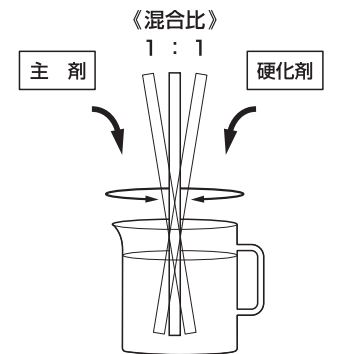


7 接着剤 ロードボンド(エポキシ系)の混合

主剤(白)と硬化剤(黒)をそれぞれ同量容器に入れ、白と黒のすじがなくなりグレーになるまでよく混ぜ合わせます。

＜＜施工上の注意＞＞

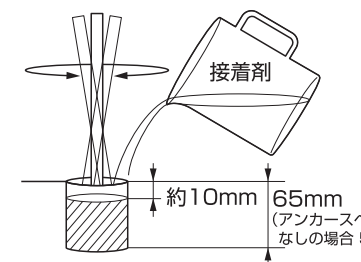
- 接着剤は2液性ですので混合比を必ずご確認ください。混合比を間違えると硬化不良を起こし、接着できない場合があります。
- 接着剤は混合後、使用できる時間は気温25℃で約20分程度です。
- 接着剤は、当社ロードボンドをご使用ください。
●当社ジスロンボンドを使用される場合は、ジスロンボンドの取扱説明書にしたがってご使用ください。製品1本あたりのジスロンボンド使用量は、約390gです。



ロードボンド	約360g
--------	-------

8 接着剤の注入

接着剤は孔の表面から約10mm下まで注入します。接着剤注入後、接着剤と孔の壁面をなじませるためよくかき混ぜてください。

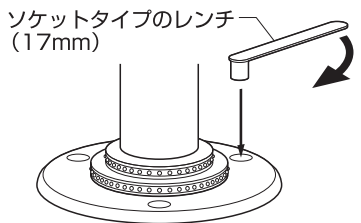
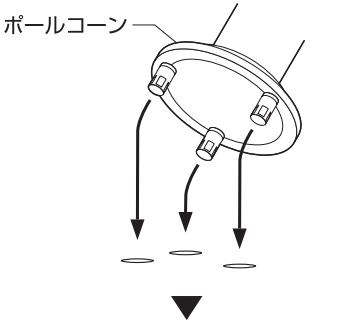


9 ポールコーンの設置

もう一度、アンカーのゆるみがないことを確認してポールコーンを孔に挿入します。

＜＜施工上の注意＞＞

- 接着剤の硬化時間以上に必ず養生してください。養生時間前に交通解放を行いますとがたつきが生じて製品に不具合が生じたり、路面から抜けるなどして危険です。十分にご注意ください。
- 接着剤の硬化時間のめやすは以下のとおりです。
夏期(路面温度40℃) 1時間以上
常温(路面温度25℃) 1時間30分以上
冬期(路面温度10℃) 3時間以上
- 表面にガラスビーズが付いたGBFタイプについては、本体パイプ部分に接着剤が付着しないようにご注意ください。再帰反射しくくなります。



10 ポールコーンの締め付け

接着剤の硬化後、ソケットタイプのレンチ(17mm)で、しっかりと締め付けてください。